

計量管理部会々報

＜令和元年度（一社）千葉県計量協会定時社員総会開催＞

去る6月25日、令和元年度（一社）千葉県計量協会定時社員総会が開催され、盛会のうちに無事終了致しました。

ここにその概要をお知らせ致します。

1.日 時 令和元年6月25日(火) 15:00～16:20

2.場 所 ホテルプラザ菜の花

3.構成員 社員総数 328社員

4.出席者

来賓 千葉県計量検定所長 森田 雄 様

(一社)日本計量振興協会理事

河住 春樹 様

出席者 65 社員 委任状 176社員

(社員数 計 241社員)

(理事) 惠藤敏郎、時田竹生、土屋哲男、鶴澤 宏、

上原健一、矢原昭文、鶴見昭治、大野 武、

岡本美孝、三島 康、安並 淳、佐藤光央、

小幡昭彦、野口公正、曾根源広、溝口 剛、

齋藤隆宏、井場誠史

計 18 名

(欠席) 土屋哲男、鶴澤 宏、矢原昭文、岡本美孝、

安並 淳、佐藤光央、小幡昭彦、井場誠史

計 8 名

(理事候補者) 勝又 勇、八重樫祐二、富澤秀生、

真島 仁

計 4 名

(監事) 高橋 芳明、齋藤 博之

計 2 名

(事務局) 米谷 賢徳、鈴木 京子

計 2 名

5.事務局より開会を宣言

6.挨拶

会長挨拶

惠藤 敏郎 会長



惠藤会長挨拶

只今ご紹介をいただきました、会長の惠藤です。

本日は、本年5月1日に新天皇陛下が即位され、元号も「平成」から「令和」と定められた年の最初の定時総会に業務ご多忙の中、多くの会員の皆さまにご出席を賜り、盛大に挙行されますことに、お礼を申し上げます。

さて、当協会では、平成22年8月に法人化して来年10周年を迎えます。その間、会員皆様方の多大なるご支援・ご協力を賜り、着実に会務の運営を遂行できましたことに、厚く感謝申し上げます。

また、公務ご多忙の中、千葉県計量検定所森田所長並びに御来賓の方にご臨席を賜り、心よりお礼申しあげます。

始めに、本日、表彰を受けられました皆様方におかれましては、長年にわたり適正な計量関係事業の実施にご尽力され、その顕著な功績に対しまして敬意を表し、表彰を行ったものであり誠にありがとうございます。

今後とも、豊富な知見を活かし、益々計量関係事業の向上・発展にご尽力賜りますことをお願い申し上げます。

さて、近年の国内製造業の現場では、長年品質データの改ざんや無資格者による検査などが行われた問題が衝撃的でした。計量関係に携わる者としても法の原点に立ち返り、日ごろからコンプライアンスを十分に意識し、適正な計量の実施の確保に努めていくことの重要性を改めて認識させられたところでは。

一方、計量業界にとっても十年ぶりに開催された計量行政審議会の答申を踏まえ、計量法政省令の見直しが行われ「自動はかり」を特定計量器に追加し検定を実施すること、器差を中心とした「指定検定機関」の創設など、改正は多岐にわたっており取り巻く環境は著しく変化しております。

また、昨年11月16日に「国際度量衡総会」において、7つの基本単位のうち、質量の単位キログラム(kg)など四つの単位の定義改正案が承認され、本年5月20日の「世界計量記念日」に正式に新定義に移行されました。

このような状況の中で、当協会としては、今後とも県と表裏一体の立場から、広く県民の計量思想の普及啓発、及び計量に関する知識、技術の向上並びに計量関係者の資質の向上を図ると共に、会員皆様の計量意識の向上に資するための各種講習会、研修会・見学会等を実施してまいり所存です。

結びに、各部会のますますのご発展と、本日も参加の会員事業所並びに皆様方のさらなるご繁栄・ご健勝を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞

千葉県計量検定所長 森田 雄 様



千葉県計量検定所長挨拶

ただいまご紹介いただきました、千葉県計量検定所の森田でございます。この4月より所長として着任いたしました。今後とも、よろしくお願いいたします。

開催にあたりまして、簡単ではありますが、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、一般社団法人千葉県計量協会の令和元年度通常総会がかくも盛大に開催されますこと、謹んでお慶び申し上げます。

会長の恵藤様をはじめ役員の皆様、また会員事業者の皆様には、日頃から本県の計量行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申しあげます。

貴協会におかれましては、これまで長年にわたり、県民への計量思想の普及啓発や正確な計量のための計量管理の普及を図る各種事業を実施され、本県における適正な計量の実現に大きく寄与されてこられましたことに、心から感謝申し上げます。

加えて、協会運営が効率的かつ精力的に行われておりますこと、県といたしましても大変頼もしく感じております。

また、先ほど栄えある会長表彰を受けられました受賞者の皆様、誠にありがとうございます。

皆様の長年のご功績に深く敬意を表しますとともに、この度の受賞に対して、心からお祝いを申し上げます。

皆様には、今回の受賞を契機として、計量業界の発展と計量思想の普及啓発にますます御尽力くださいますようお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、計量制度は通貨制度と並んで、経済、産業、文化、科学技術、消費生活、教育など、社会の様々な分野で利用される基盤的な制度であります。

その重要性は、この場で私から申し上げるまでもなく、皆様よくご存じのことと思います。

その計量制度ですが、国では、「民間事業者の参入の促進」、「技術革新、社会的環境変化への対応」、「規制範囲・規定事項の再整理明確化」を目的とし、順次、関係法令を改正するなど、新たな動きをみせております。

県といたしましては、このような国の動向を注視しつつ、今後とも貴協会と連携を図り、新たな制度に対応し、適正計量の実施推進を図ってまいりたいと存じますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県計量協会のますますの御発展、また会員事業者の皆様の今後の御繁栄、さらには、本日も参集の皆様のお健勝を併せて御祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

7.出席者報告

事務局より、社員総数328社員 出席者65社員 委任状176社員計241社員であり、定款第20条に定めた過半数の出席となり、定足数を満たすことにより、総会が成立することが報告された。

8.議長選出

定款第19条により、議長は、その社員総会において出席した社員の中から選出することになっており、恵藤会長が議長に選出された。

9.議事録署名人

定款第22条により、議長、計量士部会長 鶴見昭治、計量管理部会長 上原健一が議事録署名人に選任された。



事務局からの報告

10.議事

第一号議案 平成30年度事業報告について

事務局より事業報告があり、全員一致を以て異議なく承認された。

第二号議案 平成30年度収支決算報告及び監査報告について

事務局より収支決算報告、監事により監査報告があり、全員一致を以て異議なく承認された。

第三号議案 令和元年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)について

事務局より事業計画(案)及び同年度収支予算(案)の説明があり、全員一致を以て異議なく承認された。

第四号議案 役員の改選(案)について

事務局より役員の選任(案)の説明があり、理事会で承認された理事候補として、勝又勇、八重樫 祐二、真島 仁、富澤 秀生が紹介され、全員一致を以て異議なく承認された。

なお、被選任者は、いずれも席上その就任を承諾した。



恙なく議事が進行された

第五号議案 その他
なし

以上をもって議事を終了し、午後4時20分に閉会した。

11.表彰式

総会に先立ち表彰式を行った。

(1)平成30年度 表彰委員会審査報告

①計量管理優良事業所

平成30年11月に実施した計量管理実施状況調査書を参考に書類選考、現地審査を行った結果、下記の通り決定し、4月25日の全体会議議案集にて承認を受けた。

D I C (株) 千葉工場 殿

J S R (株) 千葉工場 殿



表彰を受けた事業所の方々

②計量管理功労者

事業場推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

永瀬 重典 殿

三井・ダウポリケミカル(株)千葉工場

③優良計量技術者

事業場推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

小西 啓 殿 住友化学(株)千葉工場



表彰を受けた功労者、技術者の方々

上記受賞者に対し会長より表彰状、楯、記念品をそれぞれ贈呈した。

2)「計量管理強調月間」ポスター・標語入選者の表彰

①ポスターの部

特賞 増田 重則 殿 JSR(株)千葉工場

優秀賞 富里 由加里 殿

(株)荏原製作所富津事業所

高根 千代 殿

(株)荏原製作所富津事業所

大垣 隆 殿

JNC石油化学(株)市原製造所



ポスターの部で表彰を受けた方々

②標語の部

特賞

- ・正しい知識で正しく計量 みんなで守る

日本の品質

伊勢田 翔平 殿

古河電気工業(株)千葉事業所

- ・ルールを守る確かな計量 社会へ届く確かな製品

井上 光章 殿 出光興産(株)千葉事業所

- ・見逃すな 誤差の増加と状況変化 すぐに確認

正しい計量

永井 隆弘 殿 住友化学(株)千葉工場

- ・正しい計量 社会の安心 信頼支える計量管理

南 栄作 殿

旭国際テクネイオン(株)京葉事業所

優秀賞

- ・見逃さない 確かな基準と 正しい視点

皆で築こう 大きな信頼

竹内 浩之 殿

JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)

- ・正しい知識と正しい管理 信頼築く 確かな計量

大垣 隆 殿 JNC石油化学(株)市原製造所

- ・適正基準で精密計量 校正忘れず正しく管理

油谷 卓弥 殿 JNC石油化学(株)市原製造所

- ・正しい計測 確かな計量 全ての基本がそこにある
富里 由加里 殿

(株)荏原製作所 富津事業所

- ・一人一人の意識で築く 計量の連鎖で生まれる

確かな信頼

白石 真吾 殿 (株)荏原製作所 富津事業所

- ・わずかな誤差も見逃すな！

確かな仕事が信頼つなぐ

森田 大介 殿 住友化学(株)千葉工場

- ・僅かな誤差も見逃さない、適正管理で築こう信頼

富山 祐太郎 殿 住友化学(株)千葉工場

- ・読み取る目盛の知識と精度

あなたが育む未来と信頼

関戸 孝幸 殿 出光興産(株)千葉事業所

- ・わずかな異常を早期にキャッチ 今日も安心

計量保全

麻生 剛 殿 KHネオケム(株)千葉工場

- ・正しく測って高まる信用 品質支える計量管理

伊藤 伸 殿 旭国際テクネイオン(株)京葉事業所



標語の部で表彰を受けた方々

以上

計量管理優良事業場表彰を受賞して

DIC 株式会社 千葉工場

この度、千葉県計量協会令和元年度通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会及び各会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要につきまして紹介させていただきます。

1. 当事業所の概要

DIC(株)千葉工場は1962年、京葉コンビナート地域に操業開始いたしました。約43万m²の敷地を有する、当社の国内主力工場であり、各種合成樹脂、可塑剤、改質剤、中空糸分離膜等を生産し、国内外のお客様に提供しております。

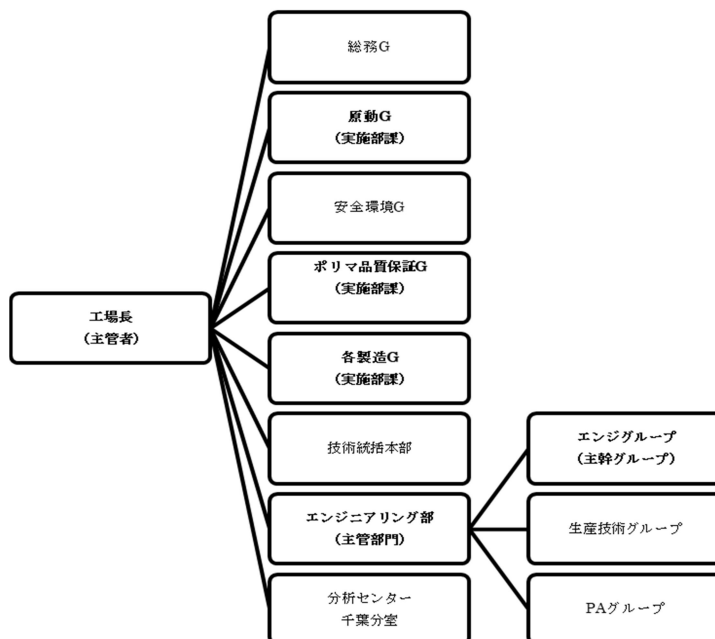
なお、2008年の創業100周年を機に、操業当時の社名である大日本インキ化学工業(株)からDIC(株)に社名変更しております。

2. 計量管理の概要

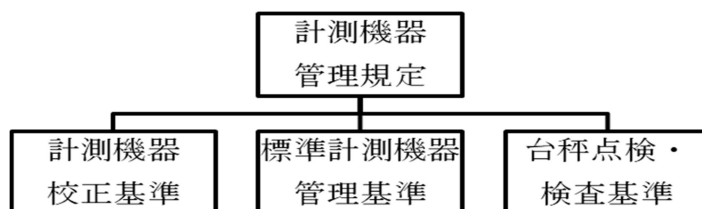
(1) 計量器の台数

長さ計	1台	質量計	272台
温度計	1730台	圧力計	3351台
体積計	3台	流量計	935台
液面計	959台	その他	17台
騒音計	2台	振動レベル計	8台
水素イオン濃度計	18台		
大気濃度計	7台		

(2) 計量管理の組織



(3) 計量管理規定



(4) 計量器の検査設備

- ① 基準器
該当なし
- ② 標準器
重鎮型圧力計、精密空気圧力試験機、標準圧力計、標準分銅
- ③ 作業用計測機器
ホイーストブリッジ、カウンター、電圧計、電流計、デジタルマルチテスター、ダイヤル可変抵抗器、直流標準電圧電流発生器
ガラス製温度計 他

3. 計量管理の管理状況

(1) 受入検査

計装設備、機器の(購入・修理・校正)納入後、依頼部課への引渡し前にポリマーエンジニアリンググループの各担当者により検査、確認を実施します。

(2) 定期検査

計測機器校正基準に基づき、実施対象機器を登録。点検周期、内容を定め、メーカーまたは専門業者により実施します。

(3) 日常点検

各製造課など、設備所有部課の台秤取扱者により点検票を用いて「台秤点検要領」に基づき点検・管理を実施しています。

その他の計測機器は点検表を使用し、パトロール方式で点検します。

(4) 臨時検査

日常点検などで異常が見られた場合、または、その他必要に応じ、各製造課の依頼によりポリマーエンジニアリンググループの各担当者により検査、確認を実施します。

4. 量目及び品質の検査

(1) 原料

① 量目 原料受入保管、及び払出規定により実施します。ローリー車の受け入れにはトラックスケールを用います。

② 品質 受入検査及び試験規則により実施します。

(2) 製品

① 量目 台秤点検検査基準、計測器校正基準にて管理された台秤等により計量を実施します。

② 品質 出荷製品検査、及び試験規則により実施します。

5. 計量管理に関する改善活動

全社員参加のミニ提案活動や、各 QC サークル活動等により製品の品質、計量管理の向上、改善に努めています。

6. ISO 取得状況

ISO9001 1993年10月

ISO14001 1997年12月

7. 教育・訓練

(1) 一般従業員

工場、各部課の作業標準による OJT 及び QC 研修会の実施、また社外研修への参加

(2) 計量管理要員

作業標準による OJT、新規設備導入時の教育、メーカーのトレーニングスクールへの参加、各種セミナー、展示会への参加

(3) 協力事業場

作業標準による OJT、社内研修、講演会の参加

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させていただきました。

今回の表彰を機に、さらなる計量管理活動の推進と改善に取り組んでいこうと考えております。引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

計量管理優良事業場表彰を受賞して JSR(株)千葉工場

この度、千葉県計量協会令和元年度通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会および各会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

1. 当事業所の概要

JSR(株)千葉工場は、1968年に千葉臨海工業地帯にJSR(株)の第2工場としてブタジエンプラントを建設、操業を開始しました。翌1969年にポリブタジエンゴム(BR)プラントが完成。原料から製品までの一貫体制を確立しました。さらに1973年には世界で始めて当社が独立技術で開発した熱可塑性エラストマーのブタジエン樹脂(RB)プラントが、1997年には耐熱透明性に優れた樹脂 ARTON のプラントが稼働、これらの製品はタイヤや靴底、ディスプレイ材料など広範囲な用途に使用されています。お客様に価値の高い製品を安全、安心に使って頂けるように生産活動を行っております。

2. 計量管理の概要

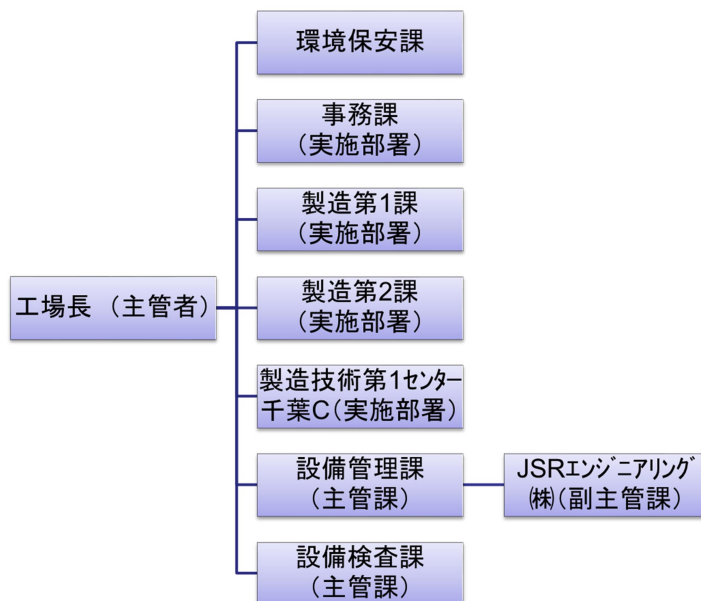
<一般計量(測)器>

長さ計	5台	質量計	22台
温度計	1616台	圧力計	3805台
流量計	1571台	液面計	1616台
その他	74台		

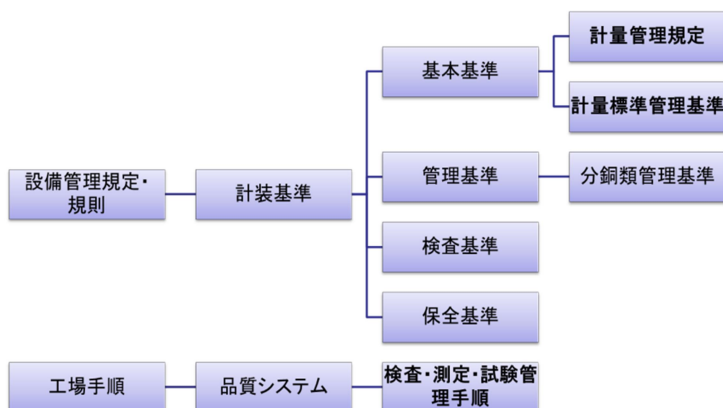
<分析計>

騒音計	1台	振動計	30台
水素イオン濃度計	35台	大気濃度計	343台

3. 計量管理実施の組織



4. 計量管理規定類



5. 計量器の検査設備

(1) 基準器

該当なし

(2) 標準器

デジタルマルチ温度計、重錘型圧力計、デジタル圧力計、M 型標準ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、6ダイヤル式抵抗器、標準電圧電流発生器、多機能キャリブレーション

(3) 検査設備

検査用分銅、電流計、電圧計、圧力キャリブレータ、恒温槽、デジタル絶縁抵抗計、デジタルマルチメータ、デジタル指示温度計、ストップウォッチ、パルスチェッカー

(2) 高経年化機器の更新計画策定と計画実行。

(3) 社内基準、規定類の定期確認、見直し。

(4) 技術改善、改良、トラブル事例のDB登録による全社共有。

6. 計量器及び計装設備の管理状況

9. ISO関連取得状況

(1) 受入検査

購入の受入検査は受入検査基準に従い機器仕様書及びチェックリストを使用して、数量・外観・寸法・性能検査を実施しています。

・ISO9001 :1997年取得・2017年更新

・ISO14001:1999年取得・2016年更新

(2) 定期検査

法令、重要度、故障頻度等を考慮して検査周期を定めて計画表を作成、計画に沿って定期検査を実施しています。

10. 教育・訓練

検査内容は検査基準に従い外観、分解、作動検査などを実施しています。

対象	内容	
	社内教育	社外教育
一般作業員	新入社員導入教育 階層別集合教育 資格取得支援教育 OJT教育	メーカー主催外部講習会
計量管理要員	基準、規則類の定期教育 トラブル事例教育 階層別集合教育 資格取得支援教育 OJT教育	メーカー主催外部講習会 計量管理技術講習会
協力事業場	基準、規則類の定期教育 トラブル事例教育 協力会社監査	

(3) 臨時検査

計器に指示不良、動作不良等の不具合が生じた場合は臨時検査を行い、修理が必要な場合は対策、処置方法を関係部署と協議して修理を実施しています。

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今後も、今回の受賞を励みに、更なる計量管理活動の継続改善に繋げていきたいと考えております。引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

7. 量目及び品質の検査

内容区分	項目	規定・基準類		検査の対象物	検査の実施状況
		有	無		
原料	量目	○		船・導管	・流量計による計量
				トラック・ローリー	・トラックスケールによる計量。
	品質	○		取り扱い全原料が対象	・定期的にサンプルを採取して各工程管理規格と照合。
製品	量目	○		船・導管	・流量計による計量
				ローリー	・トラックスケールによる計量
				個別製品	・オートチェッカー、台秤による計量。
	品質	○		取り扱い全製品が対象	・定期的にサンプルを採取して各工程管理規格と照合。

8. 計量管理に関する改善活動

(1) 保全システムによる保全履歴の管理と定期故障解析を実施。年間保全回数の上位機器について改善活動を行っている。

《理事会だより》

1. 第55次全体会議議案集の承認

第55次全体会議議案集が平成31年4月25日付で配付されました。議案集の附議事項として平成30年度事業報告、同年度収支決算報告及び監査報告、平成31年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)、役員一部選任(案)について各議案が審議され、全5事業所の同意が得られ、承認されました。

2. 発表会・研修見学会の開催

日 時 令和元年9月26日(木)

見学先 (1) JSR株式会社 千葉工場
(2) 沢井製薬株式会社 関東工場

発表事業場 『計量管理の概要について』

(1) JNC石油化学(株) 市原製造所
(2) JSR株式会社 千葉工場

会 場 JSR株式会社 千葉工場

3. 意見交換会の開催

日 時 令和元年11月7日(木)
13:10～17:00 (13:00 から受付)

場 所 千葉市消費生活センター
(千葉市暮らしのプラザ)
3階 研修講義室
千葉市中央区弁天一丁目25番1号

4. 研修見学会

日 時 令和2年2月12・13日 (予定)

計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理
計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい



ETO
恵藤計器株式会社

本社・工場

住所 〒261-0002
千葉市美浜区新港142-3
電話 043(242)0505 (代表)
FAX 043(243)2519
e-mail etokeiki@Saturn.plala.or.jp

恵藤計器株式会社は国際MRA対応
JCSS認定事業者に認定されました!

5. 令和元年度の実務担当者が下記の通り決定いたしました。

No	役割	団体名	担当者	担当事業
1	部会長	キッコーマン食品(株) 野田工場	上原 健一	研修委員長 広報委員
2	第1副部会長	ライオン(株) 千葉工場	八重樫 祐二	広報委員長
3	第2副部会長	日本製粉(株) 千葉工場	富澤 秀生	表彰委員長
4	理事	日鉄テックスエンジ(株) 君津支店	佐久間 真樹	広報委員
5	理事	恵藤計器(株)	伊藤 浩之	研修委員 (意見交換会、講演会担当)
6	理事	(株)フジクラ 佐倉事業所	尾崎 基生	表彰委員
7	理事	日本エマソン(株) 千葉ソリューションセンター	西村 和雄	研修委員 (研修見学会、発表会担当)
8	理事	神東塗料(株) 千葉事業所	吉田 達郎	研修委員 (意見交換会、講演会担当)
9	理事	三井・ダウポリケミカル(株) 千葉工場	戎 勝久	研修委員 (意見交換会、講演会担当)
10	理事	米屋(株) 第二工場	川島 覚	研修委員 (意見交換会、講演会担当)
11	理事	アズビル(株) 千葉営業所	林 敏彦	研修委員 (研修見学会、発表会担当)
12	理事、監事	東京計装(株)	大壁 宏康	研修副委員長 (意見交換会、講演会担当)
13	理事、監事	ヤマサ醤油(株)	廣田 怜	研修副委員長 (研修見学会、発表会担当)
14	理事	JSR(株) 千葉工場	森 美喜雄	広報委員
15	理事	横河ソリューションサービス(株) 千葉支店	平田 哲也	研修委員 (研修見学会、発表会担当)

6. その他

本会報とは別に第55次全体会議議案集を計量管理部会 HP に掲載しています。是非ご一読ください。

HP アドレス <http://www.chiba-keiryokanri.org/>

キャリブレーション・サービス

計測設備の検出端から表示装置までを含めた計量管理対象機器をISO9000s、医薬品GMP、HACCPなどの要求事項に適合した形でトータルソリューションサービスをご提供いたします。

お客さまとご相談の上、適切な実施計画をたてプロセスに最適な効率のよい計量管理をご提案致します。

実施提案

計量管理

キャリブレーションの結果から周期の管理や見直し、精度管理、さらにはデータの電子化にも対応いたします。

書類の準備

計量管理全般の基準を反映させ、個別の手順書を文書化していきます。勿論、お客様のフォームにあわせた形で提出可能です。

トレーサビリティ

キャリブレーション作業に用いた計測器（標準器）はすべて国家標準にトレーサブル。各種証明書、成績書は即時発行可能です。

キャリブレーション作業

作成された手順書に従いキャリブレーション作業を実施いたします。

実施提案

管理対象抽出
精度設定
周期設定
計量管理方法設定

書類の準備

管理機器リスト
計量管理要領
校正手順書
校正計画書
記録書フォーム

キャリブレーション作業

温度計校正
圧力計校正
その他の校正
記録書発行
ラベル発行

計量管理

周期管理
周期の見直し
精度管理
来歴管理

提出書類

一般計測器成績書
トレーサビリティ証明書
トレーサビリティ体系図
上位標準器成績書

キャリブレーションサービスでは、お客さまの立場に立ち、製品品質を維持するために何を管理対象にするか、どのくらいの校正精度、校正周期が必要か、などといった問題を解決し、対象機器のリストアップから手順書作成、校正作業、データの分析、有効期限管理、さらに校正手法、校正周期の見直しに至るまで、計量管理の全てを実現、最適な計量管理を達成いたします。

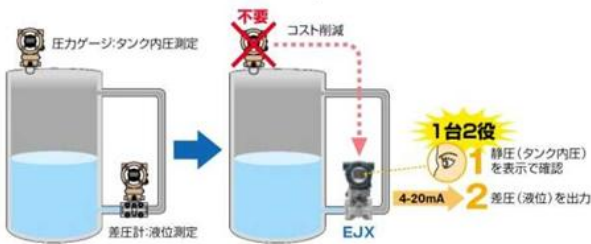
YOKOGAWA ◆

ご存知ですか?
デジタル・センシングの力!

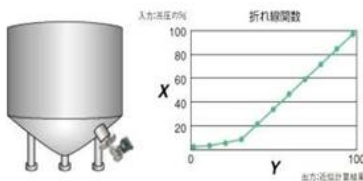
DPharpシリーズの大きな特長である「シリコンレゾナントセンサ」は、ヒステリシスが非常に小さいことで知られる単結晶シリコンのチップに、マイクロマシニング技術で2つの振動子を埋め込んだ、再現性・長期安定性に優れたセンサです。発売以来200万台以上の販売実績を持ち、世界のお客様より高い評価をうけています。



DPharp EJX™

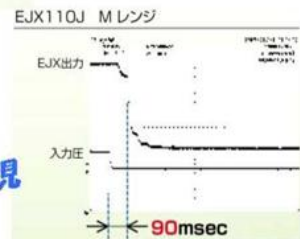


差圧/静圧を1台で
マルチセンシング



折れ線近似出力機能で
異形タンク等ノンリニア特性にも対応

世界最高水準の
高速応答を実現



新 Asset Excellence
を実現する

フィールド機器設定/情報管理ソフトウェア
FieldMate™
Versatile Device Management Wizard

総合代理店

横河電機株式会社
■本社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
国内プロダクト営業1部 TEL: 0422-52-6490

横河商事株式会社
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 541 小池ビル4階
TEL: 0436-61-4310

横河ソリューションサービス株式会社
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 727-3
TEL: 0436-61-1388
2015年10月より
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 867

東京電機産業株式会社
■千葉支店 〒260-0825 千葉県千葉市中央区村田町 1211
TEL: 043-300-8611
■銚子営業所 〒288-0817 千葉県銚子市清川町 11-4-12
TEL: 0479-23-338

化学で彩りと快適を提案する

1908年、印刷インキの製造と販売で創業したDIC（ディーアイシー、旧 大日本インキ化学工業）は、その基礎素材である有機顔料と合成樹脂をもとに事業を拡大し、素材から加工品に至る広範な製品群を展開。現在、世界64の国と地域で174のグループ会社とともに皆様の暮らしに「彩り」と「快適」を提案しています。



Color & Comfort

DIC 株式会社

www.dic-global.com

東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル



半導体分野でも、
液晶ディスプレイ分野でも、
合成ゴム分野でも、
ライフサイエンス分野でも、
**支えるマテリアル、
いろいろ。**



私たちJSRは、さまざまな分野にさまざまなマテリアルを提供しています。ここでご紹介するのはほんの一部ですが、例えばスマートフォンや、テレビや、クルマや、医薬品を作る時などにも、私たちのマテリアルはよく使われています。そしてJSRは、これらのマテリアルをさらに進化させることで、それぞれの製品がより便利に、より楽しく、より速く、より安心して使えるようにサポートし、人々の暮らしや社会の役に立とうとしています。

可能にする、化学を。

JSR JSR株式会社

<http://www.jsr.co.jp>